

平成 28 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

事務事業名				部課コード	810300	04-2998-9242
事業コード	校区子ども会育成交付金			担当部課	社会教育課	
810304				グループ	社会教育グループ	
開始年度	昭和 48 年度	終了年度	年度			

事業の内容	根拠法令	社会教育法、所沢市校区子ども会育成交付金交付要綱					
	分野別計画・指針	所沢市教育振興基本計画、所沢市生涯学習推進計画、所沢市子ども・子育て支援事業計画					
	関連・類似事業						
	総合計画の体系	章	教育・文化・スポーツ	節	社会教育	基本方針	家庭・地域の教育力の向上
	補助開始の背景	地域子ども会活動を通じた青少年の健全育成をめざして、校庭開放補助事業を足掛かりに昭和48年度よりPTAを基盤として西富、山口、若狭、柳瀬の4校区に委託し、子ども会育成事業が始まり、その後、校区単位の子ども会活動に対し活動の振興を図る目的で、市から校区単位に交付金を交付するようになった。					
補助の目的(どのような効果を目指しているか)	様々な生活体験や社会体験・自然体験の機会を充実し、子どもたちの「生きる力」を育むため、子どもの自主性に基づく地域の子ども会活動の振興を図るために校区を単位に支援を行う。						
団体における実施事業の概要	資源回収、もちつき大会、夏祭り、盆踊り大会、ラジオ体操、環境美化運動、広報紙発行、わんぱく相撲大会(参加)、彩の国21世紀郷土かるた大会(運営・参加) 他				団体への加盟数		
					423	単位 会	

経費	会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)	
	補助金支出額予算現額			1,980	1,980	1,980
補助額決算 (見込み含む)			1,890	1,890	/	
(非常勤特別職員)	(臨時的任用職員)	(人)	(人)	(人)		(人)
正規職員人件費		0.30 人	2,616	0.40 人		3,464
事業費合計			4,506	5,354		
団体の活動費の総額			3,234	2,911		

実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	団体活動実績	各校区単位子ども会数	単位子ども会数	会	440	423	430	500
		各校区の子ども会会員数	子ども会会員数(子ども・育成者)	人	14,355	14,515	14,600	15,000

成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	各校区の活動回数	年間延べ活動回数	目標値	460	350	330	450
				実績	311	332	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」 拡大図る	<input type="checkbox"/> 「実績」 縮小図る
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	68	95	どちらかを チェックしてください	

評価項目	事業費に占める補助金の割合	<input type="checkbox"/> 81%以上	<input checked="" type="checkbox"/> 61%~80%	<input type="checkbox"/> 41%~60%	<input type="checkbox"/> 21%~40%	<input type="checkbox"/> 20%以下
	団体活動の自主性	<input checked="" type="checkbox"/> 自主性は高い	<input type="checkbox"/> ある程度自主的である	<input type="checkbox"/> 自主性は低い		
	補助の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 終了	
評価理由	子ども会活動の異年齢集団による様々な遊びや生活体験・自然体験は、子どもたちが協調性、責任性、自己決定能力などを獲得する効果が期待できる。また、地域ボランティア活動である子ども会育成会の活動は、地域の教育力を高め、地域コミュニティの向上、安全・安心なまちづくりへとつながっていく。引き続き、このような子ども会育成会活動に交付金を交付し、活動の支援をしていく必要がある。 子ども会活動は、通学班単位や自治会単位など活動単位が地域の事情により差があるが、同じ学校に通う子ども同士が同レベルで地域活動に関われるように、校区単位の子ども会育成会の組織化を推奨し、校区単位の活動に交付金を交付している。子ども会育成会がない校区については、子ども会育成会活動がどのように行われているか状況を把握し、どのような支援ができるか引き続き検討していきたい。					
評価日	H28.8.19	評価者職氏名	社会教育課長 安田 幸雄			

環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	資料の作成	規制を受ける環境法令等	無
					緊急事態	無